

シート系流し貼り型床版防水工法

タフシャット I 型



タフシャット I 型は加熱溶融した貼付用アスファルトを散布し、その上に防水シートを貼り付ける工法です。

- 特長**
- ① 床版や舗装との接着に優れています。
 - ② 貼付用アスファルトを使用し、防水シートを貼り付けるため、防水性能が非常に優れています。
 - ③ 貼付用アスファルトを使用しているため、ひび割れ追従性に優れています。
 - ④ 防水施工後の養生時間が短いです。
 - ⑤ 打ち継ぎ目の多い床版においても適用性が高いです。

タフシャット I 型の施工断面

タフシャット I 型シート			
1.2 kg/m ²	アスファルトコンパウンド		1.0 kg/m ²
0.4 L/m ²	シビルスターC	シビルスターS	0.4 L/m ²
RC,PC 床版		鋼 床 版	

注) シビルスターMQを用いる場合の標準塗布量は0.2L/m²となります。(RC・PC床版)
補修橋がRC・PC床版の場合、アスファルトコンパウンドの使用量は1.2～2.0 kg/m²となります。

タフシャット I 型の施工手順



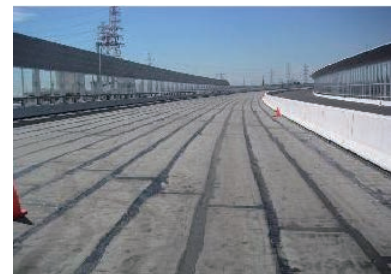
1.清掃



2.シビルスター塗布

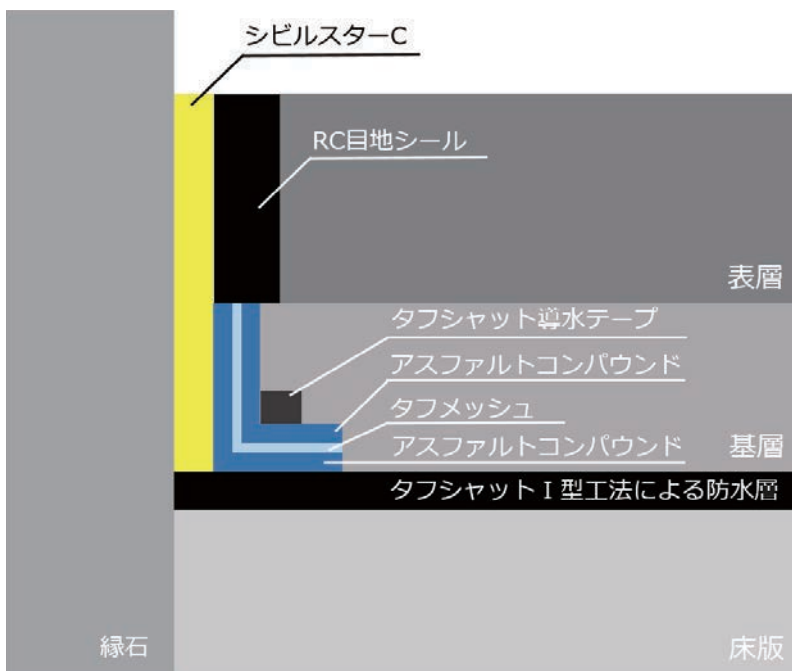


3.アスファルトコンパウンド塗布
およびタフシャット I 型貼付

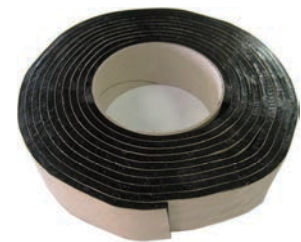


4.完成

タフシャット I 型防水層の構成 (例)



その他の防水製品の一例



RC目地シール



タフシャット導水テープ